



千地申
第2号

「営業職場の将来像」について団体交渉を行う！その①

1. 変革2027で掲げた「駅の将来像」に向けて今後どのように施策を行っていくのか明らかにすると共に、今後の営業職場の要員需給を明らかにすること。

(会社の回答)

社員一人ひとりが創意を發揮し、「お客さま」や「地域」の変化を積極的に支えるべく、様々な施策の実施を通じて「駅」の役割も変革していく考えであり、変革された「駅」が価値創造の基軸となることで、すべての人の「心豊かな生活」とグループの持続的な成長という「変革2027」の理念を実現していく考えである。なお、これまでと同様、必要な要員は確保していく考えである。

(特徴点)

- ・千葉ステーションビルへの委託については、今のところ他では考えていない
- ・営業職場の将来的な要員については、現在具体的に示せない。しかし、今後も定例業務は機械化が進んでいくが、窓口等の定例業務についてはゼロにならないと考える

2. これまで実施してきた、駅業務委託やみどりの窓口閉鎖などの施策の成果と課題について明らかにすると共に、本施策では従来の課題を克服した施策とすること。

(会社の回答)

駅業務委託及び窓口閉鎖については、より効率的な業務執行体制の構築、エルダー社員の雇用の場の確保、駅の要員事情の急激な逼迫への対応等を目的に、計画的かつ着実に進めてきたところであり、一定の成果があったと認識しているところである。

(特徴点)

- ・課題として委託駅のバランス
- ・これまでの交渉で確認した要望事項については、優先順位をつけて改善していく



3. 海浜幕張駅、検見川浜駅、稲毛海岸駅を千葉ステーションビルへ業務委託を提案するに至った経緯を明らかにすること。また、本施策によって「新たなサービスを創造する駅運営体制の構築」が実現できる根拠を明らかにすること。

(会社の回答)

ショッピングセンター等の運営ノウハウを持つ、グループ会社の(株)千葉ステーションビルに業務委託を行うことにより、鉄道と生活サービス事業の融合による新たなサービスの提供や、駅・沿線をより便利で、より楽しめる空間に変革することが可能と判断し、業務委託を行うこととした。

4. 千葉ステーションビルが受託する、駅業務、駅ビル業務、運行業務について業務内容と、手当を含む労働条件を明らかにすると共に、安全・サービスレベルを維持向上させること。

(会社の回答)

駅業務委託実施後に行う業務については、駅業務委託等の作業要領等に則り取り扱うこととなる。なお、労働条件等については、業務委託会社にて定めることとなる。

(3項、4項の特徴点)

- ・当面は出向社員で駅業務を担い、駅ビル業務は千葉ステーションビルのプロパー社員で担っていく
- ・駅業務、運行業務については、JESSへの業務委託と基本は同じ
- ・労働条件は手当等の条件は委託会社で定めているが、労働時間はほぼ同じに、休日は多くなると聞いている
- ・稲毛海岸駅の駅遠隔操作システムについては、制御駅が千葉ステーションビル委託駅、被制御駅の千葉みなと駅がJESS委託駅となるが、現行通りの対応となる

その②へ



千地申
第2号

「営業職場の将来像」について団体交渉を行う！その②

5. 「話せる指定席券売機」について対応できる業務と、対応できない業務について明らかにすること。また、払い戻しに対する考えを示すこと。

(会社の回答)

「話せる指定席券売機」については、関係通達等に則り取り扱うこととなる。

6. 沿線価値向上やお客さまサービスレベル向上、イベント対応のために、海浜幕張駅のみどりの窓口を残すこと。また、「話せる指定席券売機」を南船橋駅、新習志野駅、検見川浜駅、稲毛海岸駅、千葉みなと駅に設置すること。

(会社の回答)

各駅の販売体制については、お客さまのご利用状況等を勘案し、決定しているところであり、イベント開催時等については、これまでと同様に駅等総体により対応することとなる。

(5項、6項の特徴点)

- ・海浜幕張駅は話せる指定席券売機2台、指定席券売機2台（話せる指定席券売機2台増設）、稲毛海岸駅は指定席券売機2台（指定席券売機1台増設）設置する
- ・話せる指定席券売機では、ジパング倶楽部などの割引証を使用した乗車券の発売や、払戻がオペレーターを介して対応ができる。しかし、マルス端末で対応できないものや、券売機が読み取れないものについては、対応不可
- ・目的は券売機による発売ではなく、新幹線eチケットなどのチケットレス化を目指していく
- ・券売機で対応出来ないものについては、乗車票で対応する
- ・窓口閉鎖に関してのお客さまからの苦情に対して、現場で対応できないものは支社もフォローしていく

7. 海浜幕張駅、稲毛海岸駅を業務委託するにあたり、新浦安駅を管理駅にする根拠を明らかにすると共に、異常時の対応について明らかにすること。また、被管理担当の業務内容を明らかにすること。

(会社の回答)

本施策については、駅・沿線をより便利で、より楽しめる空間に変革することを目指しており、京葉ベイサイドラインプロジェクトと一体となった取組みも多いことから、事務局が設置されている新浦安駅を管理駅とすることとした。なお、被管理担当については、主に被管理駅を巡回し施設管理等を行うこととなる。

(特徴点)

- ・海浜幕張駅、稲毛海岸駅にはJESSと同じように泊まりの駅務責任者（人身事故発生時の現場責任者、運転再開に向けた安全確認が出来る）を配置する予定
- ・本来、業務委託駅でやるべき仕事をJR本体で担っている事象があるのであれば、JESSに伝えて改善をはかる

8. 実態に合わせて、南船橋駅の管理駅を新浦安駅に変更すること。

(会社の回答)

現在のところ、南船橋駅の管理駅を新浦安駅に変更する考えはない。

(特徴点)

- ・今後は現場からの意見に踏まえて変更を検討する場合もある



9. 千葉ステーションビルへの教育内容を明らかにすると共に、本人の不安がなくなるまで十分に行うこと。

(会社の回答)

必要な教育・訓練は実施すると認識している。

(特徴点)

- ・本施策の目指すべき姿になるには、おおむね5～6年かかると思われる

その③へ



千地申
第2号

「営業職場の将来像」について団体交渉を行う！その③

10. 本施策に伴い社員の異動が発生する場合は、目的を丁寧に説明し希望を把握した上で本人希望を尊重すること。また、異動に関して無理な懇請は行わないこと。

(会社の回答)

社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については、個人面談等で前広に把握していく考えである。

(特徴点)

- 千葉ステーションビルへ出向した場合も、出向年数に関わらず乗務員になることもできる

11. これまで駅業務委託を実施してきた箇所を含め、出向者へJoi-Tabの個人貸与を行うこと。

(会社の回答)

これまでも必要な職場環境の整備は実施しており、今後も社員の意見等を踏まえて検討していく考えである。

(特徴点)

- Joi-tabの必要性は会社も理解している。本施策での貸与は調整している。しかし、セキュリティの観点からそのままの貸与は難しい

12. 駅業務委託を実施する場合、制服の採寸など個人貸与品の準備を丁寧に行い、社員のモチベーションを高めること。また、バックヤードを整備・改善し、社員が働きがいの持てる環境とすること。

(会社の回答)

これまでも必要な準備は実施しており、職場環境の整備についても引き続き社員の意見等を踏まえながら実施していく。

(特徴点)

- 過去の経験を踏まえて社員のモチベーションが下がらないよう準備する
- バックヤードの整備は現場の要望を聞いていく



13. 津田沼駅みどりの窓口の営業時間を短縮する根拠を明らかにすると共に、短縮した分の作業ダイヤは現場の意見を取り入れ、ゆとりのある作業ダイヤとすること。

(会社の回答)

作業ダイヤについては、業務実態等を勘案し作成していく考えである。

(特徴点)

- 営業時間に関しては周囲の駅が短縮した事で様子を見たが、大きな影響もなく現場の声もあり短縮した
- 繁忙期を経験していない社員に対しては会社としてしっかりフォローしていく
- 窓口営業時間短縮に関してのお客さまからの苦情に対して、現場で対応できないものは支社もフォローしていく

14. 施策実施後に検証を行い、問題等が生じた際は労使で協議すること。

(会社の回答)

具体的な提起がある場合は「労使間の取扱いに関する協定（平成30年10月1日締結）」に則り取り扱っていく考えである。

施策実施後も、「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある施策とするために、千葉地本は検証を行います。不安なことやご意見があれば千葉地本まで連絡下さい。